

国内初の取引の実施～自然資本由来のカーボンクレジット市場形成に向けて～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、このたび自身が参画する一般社団法人ナチュラルキャピタルクレジットコンソーシアム（理事長：馬奈木 俊介 九州大学教授、以下「NCCC」）が岡山県赤磐市で認証したボランティアカーボンクレジット（以下「本クレジット」）を購入しました。国内初の取引の実施になりますので、お知らせします。

1. 背景

NCCCは、企業・自治体・研究機関が連携し、自然資本の価値を可視化・評価し、信頼性の高いクレジットとして認証することで、持続可能な社会の実現を目指すコンソーシアムです。損保ジャパンは2023年度から理事を派遣して運営に参画しています。

NCCCが創出した第一号の認証は、岡山県赤磐市の太陽光発電設備敷地を草地化することで、土壌が吸収したCO₂をクレジット化したものです。^{※1}

2. クレジットの概要と取引の意義

本クレジットは、有限会社辻田建機（代表取締役：辻田兼臣）が特許を取得している「ユニティグリーン工法」を用いて、土壌の緑化を通じて炭素を固定する取組みです。衛星画像解析やAI等の最新技術を活用することで透明性が高く高品質なクレジットで、脱炭素社会のみならず、土壌の健全化を通じた生態系の保全・再生や、地盤強化による自然災害に対する防災・減災に貢献するものです。^{※2}

損保ジャパンは、本クレジットの購入により、地域コミュニティの強化に寄与するとともに、普及啓発を通じて、自然資本由来のボランティアクレジットの市場形成に向けた重要な一歩を踏み出します。

3. 今後の展開

損保ジャパンは、気候変動、生物多様性、循環経済といった課題を統合的に捉えるシナジーアプローチにより、地球環境への貢献と、企業価値の向上に取り組んでいきます。今回のクレジットの購入を契機にNCCCの多様な参画企業とのオープンイノベーションを促進し、地域の脱炭素やレジリエンスの向上を促進し、「損保ジャパンでよかった。SOMPOでよかった。」とっていただける会社を目指します。

※1 NCCCリリース：[NCCCが世界初の手法によるカーボンクレジット認証規約の確立とボランティアカーボンクレジット（第一号）を認証（2024年8月16日）](#)

※2 ユニティグリーン工法：<https://tsujita-group.com/divisions/construction/>

以上



つなぐ・つながる

すべての人のしあわせと、サステナブルな未来を。